

第4回 東海村まち・ひと・しごと創生推進会議 会議録

【日 時】令和7年2月7日（金）10時00分～11時00分

【場 所】東海村役場 議会棟2階 201・202委員会室

【出席者】委 員 出席6名，欠席4名

事務局 東海村 山田村長

総合戦略部 富田部長

政策推進課 小林課長，片野課長補佐，鯉淵係長，助川係長

1 座長あいさつ

皆さん、おはようございます。今年度最後の会議ということで、これまで検討してきた総合戦略の内容を確認していく回になるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

2 協議事項

(1) パブリックコメントの状況と対応

(2) 東海村人口ビジョン，東海村まち・ひと・しごと創生総合戦略の内容確認

(3) 来年度の予定

以上について事務局が資料に基づき説明。

委員

総合戦略の11ページの②の取組のKPIで、推奨意欲とかそういった内容は、前回の資料では入っていませんでしたよね。修正地域参画総量，初めて聞いたような気がします。

事務局

第3回会議の資料にはなく、パブリックコメント前の確認資料としてメールでお送りした資料に掲載させていただきました。当初KPIの一つとして観光入込客数を入れていましたが、もう一つ村のシティプロモーションの指標として、新たに「mGAP（修正地域参画総量）」を設定しました。これは、住民が村にどれだけ関わろうとする意欲を測るための指標であり、特に「推奨意欲」「参加意欲」「感謝意欲」の三つを中心に捉えています。

一般的に、村への感謝の気持ちは高い一方で、参加意欲や推奨意欲が低くなりがちです。そこで、シティプロモーションの取組を通じて、村の主な施策や思いを住民にしっかり伝え、行動変容につなげていくことを目指しています。

委員

分かりました。ありがとうございます。

座長

皆様から何かございますか。特に今のところは大丈夫でしょうか。

(なし)

座長

以上で協議事項は終了としたいと思います。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

事務局

座長、ありがとうございました。

それでは、今年度、最後の会議ということもございますし、あと、これで3期の総合戦略も固まったという区切りのタイミングでもございます。ここで委員の皆様からお一言頂戴できればと思っております。

委員

慣れないことで、こういった形で、村づくりを総合的に考えるというところに参加したのは初めてだったので、出てくる用語も見慣れないものが多くて、なかなか理解が追いつくのが大変だったんですけども、参加させていただいて、日頃思っているようなことを意見に反映することができたかなというところもありまして、それが全部、反映いただけるわけではないと思うんですけど。子育てをした者として、また、村内で働いている者として参加できたことはすごくいい経験になったかなと思いますし、本当はもっと多くの方が参加できるような会議になるといいかなと思いました。

ありがとうございました。

委員

私もいろいろ、村のことというか、商工会とか、そういうものに首は突っ込んではいるんですけど、村のこと、こういうふうな、真面目なと言うのは失礼ですけど、こういう会議に出席させていただいて、いい機会をいただいたかなと思っております。なかなかやはり人それぞれといいますか、人生のステージにおいて考えること、やはり私たち、私のことに置き換えると、親の介護があったり、それで子どもが、子育てが終わったりとかというと、やはり今回、女性活躍、そういう子育てというところで、やはりギャップじゃないんですけど、それぞれにおいていろいろな考えというか、変わってくるので、今、御意見あったように、いろいろな方が、多くの方がやはりこういう会議に参加していただけると、本当に村でも自

分ごとかというのは前やっていたかと思うんですけど、やはりなかなか、私も含めてじゃないんですけど、どうしてもちょっと他人事というか、自分のことになれば真剣に考えると思うんですけど、村のことというか、大きくなってしまふとなかなか考え切れないというか、考えられないなというところが正直なところなので、そういうところでも、本当に多くの方に、せっかくこういういい機会をいただいたというところはあるんですけど、本当に皆さんに知っていただければと思ったところであります。

委員

この会議に参加させていただく前と、参加して、今の状況について感じたことを、お話をさせていただければと思います。

まず、会議に参加させていただく前の東海村のイメージですけれども、個人的には、住みやすく、子育てしやすい村かなというイメージが強かったので、人口の減少についてはあまり、そんなに気にしたことがなかったというのが正直なところでした。でも、この会議に参加させていただいて、こちらの東海村の人口ビジョン、こちらを見てみて、やはり東海村も今後は例外ではないということを感じました。

こちらの、その他の東海村人口ビジョンの中身については、すごく情報を分析して、データの見える化がされていまして、すごく分かりやすい資料だと感じております。また、日本の総人口ですかね。やはりもう減少傾向にありますので、今後は本当に地域間での人口争奪戦というところで、もう本当に奪い合いということになってくるので、このような中で東海村が人口争奪戦の勝者になるために、やはり今後、東海村の魅力とか、幸福度も感じてもらう必要があるかなと。また、日常生活が本当に普通に幸せで、あとは幸福とを感じる時間さえ長ければ、人は多分、そのうち集まってくるんじゃないかなと感じています。先ほどもたくさん意見が出たと思うんですけども、今回いろいろな貴重な意見が出たと思うので、それを反映して進めていただければと思っています。

あとは、個人ごとに魅力とか幸福というのは、感じ方は多分変わってくると思うので、全部を一気にやろうと思うと大変なので、優先順位をつけて、村の魅力とか幸福度を感じられるような取組を、情報発信を今後してもらえればと思っています。

委員

前回に引き続き、今回も委員ということでやらせていただいて、実際、僕も東海村は住みやすいと思っていて、この数値化されてきて、ここ数年、五、六年、あるいは、東海村はほぼ人口が変わらず維持できているというのは、やはりこういう皆さんの努力であったり、役

場の皆さんが頑張っているのかなと思ってまして、やはり転入人口が多いということは、選ばれているということだと思うので、今後も周りから選ばれるような東海村であってほしいなというのは思いますね。

最近、自分は住みやすいと思っているんですけど、身体に障害がある方というか、目の見えない方と最近、週に何回か会う機会がここ1か月ぐらいあって、いろいろ話すことがあるんですけども、そういう方にとっては、「東海村って結構住みやすくないですか」と言ったら、「いや、意外にそうでもない」と言っていたので、障害者、公共交通機関がちょっと弱いから自分たちは苦労しますと。だから、そういう自分目線ではなくて、そういう方の目線でも何か考えたり、僕もできたらいいなというのはちょっと思いました。

こういうふうに、会議にずっと関わらせていただけてもらったことで、僕自身、すごく勉強にもなっているし、人口のこととか、ほかの仲間と話をする機会もあるので、参加してよかったと思います。また機会があったらよろしくお願いします。

委員

若者の意見をということで、このような機会をいただきまして、若者の意見という面で貢献できたかは分からないんですけど、なかなか難しい面もあったなというふうに感じているんですけど、私自身、東海村でなく、別の市に住んでいるんですが、東海村も住みやすいというふうに結構お聞きするんですけど、この生活はやはりこういう行政の方の力があってこそだなというのを、この機会を感じて、自分の身近なことが当たり前じゃないなということをととても感じる機会になりました。これからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

座長

ありがとうございます。まず、今回、総合戦略策定の年ということで、皆様と意見交換させていただいて、その意見を実際に総合戦略に反映していただくことができたので、そういう意味で、まち・ひと・しごと創生推進会議の役割は果たせたのかなというふうに思っております。

私自身は東海村に在住していないんですけども、茨城県にずっと住んでいて、東海村というのは上位の村というイメージと、まさに住みやすいというイメージは、もともとあって、実際に施策の内容を見ても、ほかの市町村ではできないような取組というのをされているような印象があって、何かそれがもっと住民の方に伝わると、いいまちだなとか、それが続いたらいいなという気持ちにもつながって、それこそ推奨意欲ということにつながるんじゃない

いかなと思っております。

今回、総合戦略を策定して、今後、実際どういう成果が出てくるのか、すごい楽しみにしておりますし、来年度、まさに進捗とか、そういうところで認識していくということになってくると思うんですけど、住民の方もそうですし、村の職員の方々、皆さんの協力の下で成果というのは出てくると思うので、本当にすごい村を挙げて、住民の方を参加させるみたいな、そういった村長の気持ちというのも、取組は感じるんですが、それをうまく活用して、ぜひ成果につなげていただきたいと思いますと思っております。

また、私自身、こういった場が初めてでしたので、ちょっと進行に不慣れなところが多々あったと思うんですけども、御協力いただき、ありがとうございました。またよろしく願いいたします。

山田村長

すみません。急遽来ました。

改めましてこんにちは。村長の山田でございます。まち・ひと・しごと創生推進会議の皆様には本当に議論していただきまして、無事、総合戦略は完成ということで、本当にありがとうございました。座長には、まとめ役ということで、御苦勞さまでございました。

委員の方のお話を聞いていて、この会議に参加してよかったと言っていたら、その上でさらに自分たちの意見が、全部じゃないかもしれませんが、総合戦略に反映されて、これが実際、来年度からスタートして、成果を上げて、本当に住民の方々が本当に、この村に住んでよかったと思ってもらえるような、そういうところにつながっていけばいいかなというふうですね。まち・ひと・しごと創生推進、これは法律に基づいて、各自治体がつくるようになっていますので、どうしても、まち・ひと・しごとは分野ごとにつくることになっていて、立てつけ上、どこの自治体も多分、決まったルールの中で戦略をつくるというところで、なかなか独自性が出せない。その施策のところでは少しオリジナリティを出してはいるんですけど、パッと見た目には、どこの自治体でも多分同じようなものが出てくるところで、非常に違いを見せるところは難しいんですが、村はたまたま総合戦略の改定時期と村の総合計画の改定時期が重なったということもあって、新たな総合計画のところにも、当然、人口減少対策をいの一に掲げていますので、そこはまち・ひと・しごととすごく密接に関わるところで、やはり少子化対策で、私は今、子育て支援というのはやって当たり前で、子育てより前の結婚。結婚が全てではないと。

その前の、若い人たちが本当にやりたいことをやれるとか、本当に今の生活に希望と夢を

持てるような、その先に、もし結婚したければ結婚するし、子どもを産みたければ子どもを産んで、子どもを産むことが、本当にそこが目的でとか、結婚してもらうことが目的というのは、それは行政のおせっかいというか、やり過ぎなので、私は、若い人たち、それは学生も含めて、これから将来やはり地域を背負っていく人たちが本当に自分の人生をいろいろチャレンジできるような、そういうまちにしていかなきゃいけないと思っています。その人たちが最終的に自分の人生を決めていくので、ただ、その人たちをちゃんと応援する仕組みが村の中にないと、多分その人たちはみんなもっと活躍できる場に出ていっちゃうと思っていますので、何となく若い人を呼び戻そうと思って、無理やり引っ張るんじゃなくて、東海村にいろいろなことができるとか、ここにいて楽しいとか、多分そういうまちづくりが必要だと思っているので、ぜひそういうことが実現できるように、村としてはこれから頑張っていけますので、また委員の皆さんには、いろいろな進捗の会議とかで御意見を伺うこともあると思います。

引き続き、村の取組を注視してもらえばなというふうに思いますので、今後ともよろしく願います。本当にどうもありがとうございました。